



食料安全保障の強化に向けた予算確保などを求める意見書採択運動を展開

道農連は6月における市町村議会の第2回定例会に向けて、世界情勢の不安定化などによる穀物や燃油、生産資材等の高騰により農業経営が圧迫し、有事の際の食料安定供給への不安が高まっていることから、「食料安全保障の強化を図る新たな予算確保と国民への理解醸成を図る意見書」の採択対策運動の実施を決め、市町村組織での取組みを展開している。

意見書のひな形では、①政府が4月に示した「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」の速やかな実施とともに、継続的な対策として拡充・強化すること、②食料安全保障の強化に向けて、自国の食料は自国で生産・消費するという考えを広く国民に理解醸成を図るとともに、将来を見据えた大胆な施策と新たな予算の確保を図ることの2項目を求めている。

国家戦略特区「法人農地取得事業」の意見募集に対して緊急行動を実施

道農連は5月16日、内閣府と農水省の両省で実施している国家戦略特区における農地所有適格法人以外の法人による農地取得（法人農地取得事業）に関する意見募集に対して、各地区・市町村組織より特区の全国展開などを行わないよう求める緊急行動を実施した。

なお、意見提出にあたっては、企業の農地取得が農地以外への転用や採算が合わない場合は耕作放棄地となる懸念があることなどを踏まえ、特区の全国展開や企業の農地取得を認める法改正を行わないよう求めた。

道GM条例改正案の

パブリックコメントへ意見を提出

道農連は、道庁が実施している「北海道遺伝子組換え作物の栽培等による交雑種の防止に関する条例」の改正素案に関するパブリックコメントに対し、各地区組織より意見提出を呼び掛けた。

素案では、食用・飼料用以外に栽培されるGM作物を条例の適用対象外にする考えが示されたことから、道農連は十分な議論の上、他作物への交雑防止や品目・品種を限定して許可するなど安全対策の徹底等を図るよう求めた。

5月の活動記録（上記以外）

- 11日 藤木眞也参議との政策協定調印 合成洗剤追放北海道連絡会第1回運営委員会
- 12日 食・みどり・水を守る道民の会幹事会
- 13日 各地区事務局会議
- 23日 道農産協会企画調整部会、道農業再生協議会第1回水田部会

アフリカ支援米「田植祭」を3年振りに開催

食・みどり・水を守る道民の会（高倉司会長）は5月28日、アフリカ支援米「田植祭」を由仁町で開催し、道民の会員や生産者ら26名が参加した。

コロナ禍の影響で一昨年、昨年は中止を余儀なくされたが、今年は感染対策を徹底した上で3年振りに開催。参加者は支援田に「ゆめぴりか」の苗を一株ずつ丁寧に植えた。

6月の活動予定

- 1日 道農連女性書記の会幹事会
- 2日 原料てん菜立会人代表者による意見交換会
- 9日 食料安全保障シンポジウム
- 14日 第2回米・水田農業対策委員会
- 22日 第2回酪農・畜産対策委員会
- 23日 第2回畑作・野菜対策委員会
- 28日 三役会議
- 29日 第3回執行委員会・第1回真の農政改革実現対策委員会合同会議

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（TEL011-241-5416）まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

